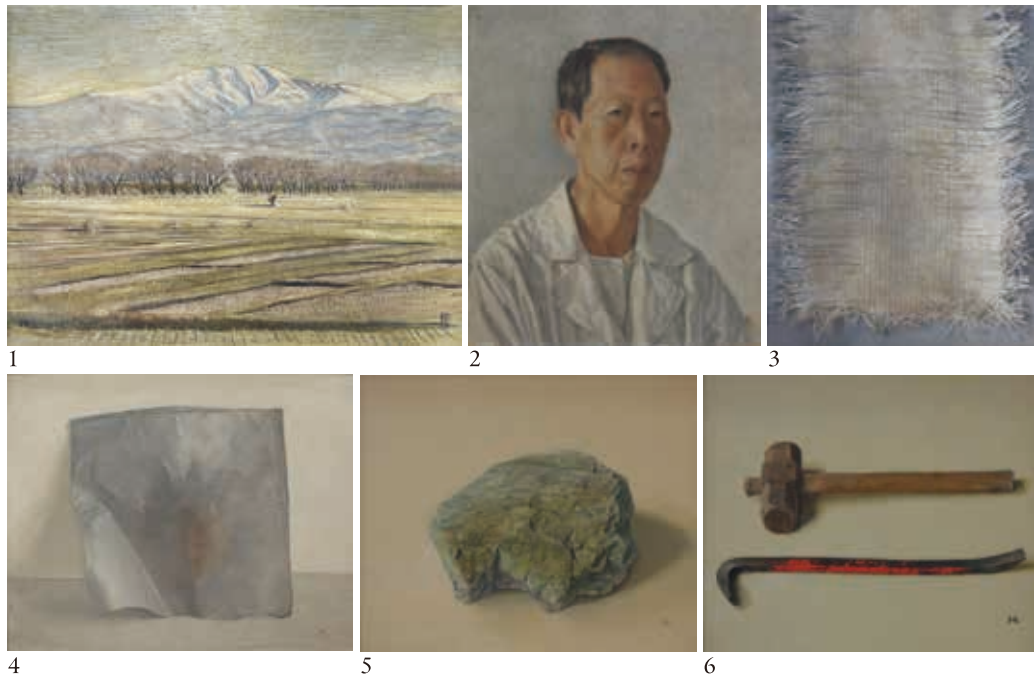


地域に根差す芸術文化の動向をたどり、郷土ゆかりの作家・作品・資料を紹介する企画展です。シリーズ第20回目となる今回は、2025（令和7）年で没後50年となる洋画家地主悌助による約40点の絵画を展覧します。また、鶴岡にルーツを持つメキシコ在住の彫刻家矢作隆一が、地主悌助の描いた石を本物の石で模刻した「模石」などの作品を併せて紹介します。

地主悌助は1889（明治22）年に鶴岡の最上町（現 鶴岡市上畑町）に生まれました。1925（大正14）年に山形県立鶴岡中学校の図画工作教師として赴任すると、同年のうちに郷土の美術団体「白鷺社」の委員長となり、長年にわたって故郷で美術教育と制作に携わりました。1950（昭和25）年に退職してからは神奈川県にアトリエを構え、個展を中心に活動し、1971（昭和46）年には第3回日本芸術大賞（新潮文芸振興会）を受賞しています。物質と精神は一体であるという信念のもと、石や紙などのモチーフを写実的で静謐な画面のなかに描き出した地主悌助は1975（昭和50）年11月26日に逝去しました。本展では、没後50年を迎える節目の年に回顧展を開催し、改めて鶴岡の芸術文化の振興に努めた人物の作品を展覧して、その芸術を見直します。



1. 地主悌助《月山》1932（昭和7）年、キャンパスに油彩、山形美術館蔵
2. 地主悌助《自画像》1955（昭和30）年、キャンパスに油彩、致道博物館蔵
3. 地主悌助《筵（むしろ）》1955（昭和30）年、キャンパスに油彩、致道博物館蔵
4. 地主悌助《ブリキの板》1959（昭和34）年、キャンパスに油彩、致道博物館蔵
5. 地主悌助《石》1966（昭和41）年、キャンパスに油彩、致道博物館蔵
6. 地主悌助《バリと金槌》、キャンパスに油彩、致道博物館蔵
7. 矢作隆一《模石/福島》2019（令和元）年、EMON photogallery（東京）での展示
8. 矢作隆一《模石》2014（平成26）年、プラザギャラリー（東京）での展示

一方、現在メキシコを拠点に活動する彫刻家矢作隆一は、母方の実家が鶴岡であったこともあり、幼少の頃から鶴岡を度々訪れていました。1967（昭和42）年に神奈川県川崎市に生まれ、金沢美術工芸大学を卒業した1995（平成7）年にメキシコへ渡り、現在ベラクルス州立大学美術造形研究所に所属しながら、グアダルーベという聖母出現の信仰と原子力発電所、そして石を題材に制作に取り組み、メキシコや日本を中心とした世界各地で作品を発表しています。矢作隆一は実在する石を別の石で模刻する「模石」という作品をくり返し制作しており、本展では地主悌助が度々描いた石の絵画から、本物の石を彫り出して再現した彫刻作品の「模石」を発表します。実物の石と描かれた石、そして模刻された石は、同じ様相を取りながらも別の物であり、その物の固有性と存在性とは何なのかということを私たちに問いかけます。

**会期中のイベント**

**開幕記念アーティストトーク 矢作隆一×佐藤時啓**

会場内を巡りながら展覧会と作品についてお伺いします。  
 日 時◇2月8日(土) 10:00～(1時間程度)  
 ゲスト◇矢作隆一氏（メキシコ在住、彫刻家、本展出品作家）  
 佐藤時啓氏（写真家、東京藝術大学教授、土門拳記念館館長）  
 ◎参加料◇無料 ※ただし、観覧券が必要です。  
 ◎申 込◇不要。当日、会場入口にお集まりください。

**庄内の美術家たち関連企画 油絵体験講座～石を描く**

地主悌助には石や紙など物質を観察し、描いた作品が多くあります。その画家の視点を感じながら、石を観察してスケッチし、油絵の基礎、素材の特徴、道具・材料を学びながら、SMキャンパスに石を描きます。 \*画材などは当館で準備いたします。

講師◇佐竹美津子氏  
 日 時◇全2回 2月16日(日)、3月2日(日) 13:00～16:00(3時間)  
 対象◇中学生以上 定員◇先着12名  
 持ち物◇モチーフとなる好きな石、エプロンまたは汚れてもよい格好、手拭きタオル  
 ◎費用◇2,300円  
 ◎申込受付◇1月15日(水)～2月6日(休) 9:00～19:00 ※休館日を除く  
 ◎申込方法◇館内受付にて申込（電話受付可）

**ギャラリートーク**

当館学芸員が会場を案内し、作品解説を行います。  
 日 時◇2月9日(日)、2月23日(日) 各日：①10:00～ ②14:00～(30分程度)  
 ◎参加料◇無料 ※ただし、観覧券が必要です。  
 ◎申 込◇不要。当日、会場入口にお集まりください。

**鶴岡アートフォーラム**

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3  
 TEL:0235-29-0260(代表) FAX:0235-22-6051  
 E-mail:info@t-artforum.net URL:https://www.t-artforum.net

ホームページ

**【アクセス】**

■自動車:高速山形自動車道・鶴岡ICより、鶴岡市役所を目指して約10分  
 ■バス:JR鶴岡駅より「052系統 市内循環 Aコース 左回り」「053系統 市内循環 Bコース 右回り」「055系統 市内循環 Cコース 右回り」「032/033/034系統 湯野浜温泉行」「061系統 あつみ温泉 方面行」のいずれかに乗車し、「アートフォーラム前」または「市役所前」バス停で下車(約10分)

※お車で越越しの際は、荘銀タクト鶴岡、公園中央駐車場が最寄です(無料)

**【同時開催】**

令和6年度鶴岡市所蔵作品展 第4期「Composition 作曲と構成」  
 会期 ◇1月11日(土)～3月30日(日) 9:00～17:30  
 会場 ◇ギャラリー1 常設展示コーナー(入場無料)

**【喫茶のご案内】**

フォーラムカフェ クルール 展覧会開催中は営業  
 ※臨時休業の場合もあります。メニューなど、詳細についてはホームページをご確認ください。  
 時間 ◇10:00～16:00 (ラストオーダー15:30)